

税理士会の要望実現のために活動しています

# 近畿税政連

令和4年(2022年)

1月10日

第256号

〒540-0012 大阪府中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050  
URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail [info@kinzeisei.jp](mailto:info@kinzeisei.jp)

発行所 近畿税理士政治連盟  
発行人 久保直己//編集人 矢田善久



護王神社の絵馬 (京都市上京区)

撮影: 東 智之 (上京支部)

■ 一斉陳情 .....	3
■ 大臣等就任表敬訪問 .....	4

## 焦点

昨年10月末に衆議院議員総選挙が実施された。一昨年9月に安倍元首相辞任、菅政権が誕生して以降はコロナ禍の動向をにらみつつも、いつ衆議院の解散があっても不思議でない状況が続いていた中であったが、菅政権は僅か一年で自ら終焉の時を迎え、自民党総裁選を勝ち上がった岸田新総理のもと、結局は任期満了近くの解散総選挙となった。

さて選挙に関連して、税政連活動の一つである選挙支援がある。具体的には、推薦候補者の当選を目指し、会員先生方のご協力のもと、選挙ハガキの宛名書きや投票依頼の電話作戦といった人海戦術の展開等をいう。そしてこれらの選挙支援を行ううえで、遵守しなければならない法律が、「公職選挙法」と「政

## 選挙支援

治資金規正法」であり、この二つの法律を『選挙2法』と呼んでいる。

税政連ではこの『選挙2法』について、選挙支援を展開するうえで会員先生方が意図せずに法令違反を犯すことがないように国政選挙の実施時期に合わせて勉強会を開催している。内容は単なる逐条解説のみならず、仮に法令違反にならない事案であっても、相手方の法の誤認や不理解によるトラブルの発生を未然に防ぐような行動指針を示せるように心掛けている。

今夏には、参議院議員通常選挙が実施される。あらためて税政連活動としての選挙支援について会員先生方のご協力をお願いするとともに、その折には『選挙2法』を気に留めていただき、税政連の存在感を発揮していただきたい。

(副幹事長 長谷川隆史)

# 年頭のことば

## 三方よしの政策実現を！「社会によし、納税義務者によし、税理士によし」

新年あけましておめでとうございます。

会員先生、ご家族の皆様には健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

皆様には、変わらず物心ともに温かいご理解とご支援を賜り、税政連活動に一定の成果を見ることが出来ましたこと、厚くお礼と感謝を申し上げます。



久保直己 会長

### 第49回衆議院議員総選挙を終えて

#### Let's start fresh! (仕切り直そう!)

まずは、近畿各地域において推薦候補に対し、コロナ禍にも関わらず、ご支援いただき感謝と御礼を申し上げます。

昨年10月末に実施された衆議院総選挙は、事前予想に反し与党絶対安定多数となりました。一方、野党第一党の立憲民主党は立憲共産党と揶揄され、想定外の議席を減らす結果となり、枝野執行部は辞任に追い込まれたのであります。

近畿では、特に大阪において維新旋風が吹き荒れ、9名の推薦議員が落選するなど、税政連にとりましては大変残念な結果となりました。しかし、再起を誓う候補者には今まで以上に力強い後援会活動をしてまいりたいと存じます。

### 税理士法改正が国会審議へ

昨年末の税制改正大綱に、税理士制度の見直しが明記されました。ウイズコロナ時代に対応した制度の見直しが検討され、今春の通常国会での審議になる予定であります。

税理士法に関する改正項目の実現に向けて、税理士による後援会を通じて活動を進めてまいります。

### 第26回参議院議員選挙

本年7月28日に任期満了となる参議院通常選挙が実施されます。推薦候補者全員の当選を目指して準備を進めてまいります。

輝かしい未来に向かって、そして税理士制度と申告納税制度の発展のために、執行部一同努力してまいります。

会員各位には変わらぬご理解と絶大なるご支援をお願いし、あわせて税政連活動、後援会への積極的なご参加を重ねてお願い申し上げます。

### Web会議を基本に

今までの常識はいったい何だったのか、当然のように対面の会議のために天満橋に通い続けておりました。もちろん対面会議も必要ではありますが、会員の先生方からお預かりしている貴重な財源を、より効果的に投下していけるよう今後とも知恵を絞って参りたいと思います。

皆様にとって今年も最良の年でありますよう祈念申し上げ、あいさついたします。



焦点	1	大臣等就任表敬訪問	4
年頭のことば	2	かんさいすずめ	7
一斉陳情	3	銀河系	7

# 一斉陳情

～令和4年度税制改正および税理士法に関する改正要望で協力要請～

11月16日、国会議員を訪問し、一斉陳情をおこなった。「令和4年度税制改正要望」および「税理士法に関する改正要望」が実現できるように協力を求めた。

(陳情先国会議員は写真の通り、訪問順)

## ○主な要望項目○

### ～令和4年度税制改正要望～

- ・ 適格請求書等保存方式を見直すとともに、その導入時期を延期すること
- ・ 消費税の非課税取引の範囲を見直すこと
- ・ 基礎的な人的控除のあり方を見直すとともに、所得計算上の控除から基礎控除へのシフトを進めること
- ・ 「災害損失控除」を創設するとともに、相続時精算課税制度における受贈財産が災害により損失を受けた場合の救済措置を設けること

### ～税理士法に関する改正要望～

- ・ デジタル・ICTを前提とした税理士制度への変革
- ・ 多様な人材の確保と受験者数の減少への対応
- ・ 税理士に対する信頼の向上を図るための環境整備



泉 健太 衆議院議員



福山哲郎 参議院議員



関 芳弘 衆議院議員



山本香苗 参議院議員



小林茂樹 衆議院議員



杉 久武 参議院議員



山田賢司 衆議院議員



松本剛明 衆議院議員



石田真敏 衆議院議員



うえの賢一郎 衆議院議員



西田昌司 参議院議員



勝目 康 衆議院議員





國重 徹 衆議院議員



奥野信亮 衆議院議員



堀井 巖 参議院議員



伊佐進一 衆議院議員



柳本 顕 衆議院議員



こやり隆史 参議院議員



北側一雄 衆議院議員



## 大臣等就任表敬訪問

11月16日～17日、岸田内閣において、大臣等に就任された当連盟推薦国会議員を表敬訪問した。また、あわせて「令和4年度税制改正要望」および「税理士法に関する改正要望」が実現できるように協力を求めた。



高市早苗 自民党政調会長



二之湯智 国会公安委員長・防災担当大臣



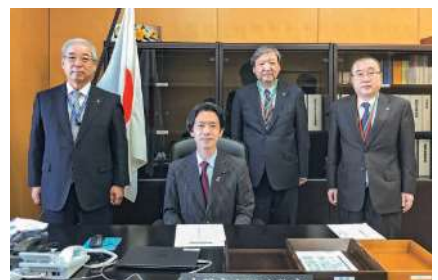
山口 壯 環境大臣



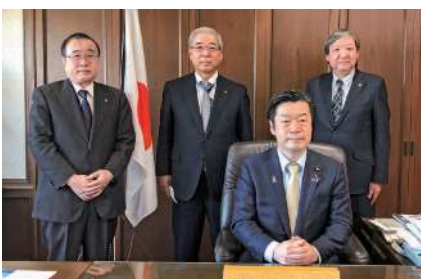
田中英之 文部科学副大臣



大岡敏孝 環境副大臣



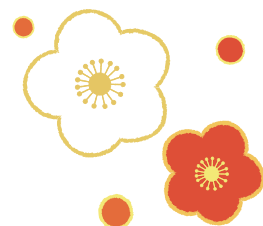
宗清皇一 内閣府大臣政務官、復興大臣政務官



加田裕之 法務大臣政務官



本田太郎 外務大臣政務官



## 本部6委員会の紹介

### 政策委員会

政策委員会は、令和3年度の運動方針および委員会方針に則り、基本政策の企画および立案をおこなってまいります。さらに、日本税理士政治連盟および近畿税理士会と連携して会員に近畿税理士政治連盟の活動への理解と協力をいっそう深めていただけるよう活動していく予定です。

これからの2年間、政策委員会の委員が一つになり、組織力を高めて会員一人ひとりに近畿税理士政治連盟の目的と必要性を伝えるとともに、活動の輪を少しずつ広げていきたいと思っ



ておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(政策委員長 木原義和)

### 財務委員会

財務委員会は、財政の確立強化と健全な運営を図ること、会費収納率向上のための諸施策を検討・実施することを活動方針としています。

最大の課題は会費収納率の向上ですが、現状としては会費収納率が毎年低下しています。

会費収納率の向上は、各单位税政連ともに非常に苦心しているところですが、財政が整わなければ思うような成果を得る活動を行うことができません。他の委員会のご協力をいただきながら、まずは会費収納率を毎年前年度より5%増を目指します。

そのためには、口座振替の推進、便利なコン



ビ二収納の周知をはかり、皆様の利便性の向上にも励みますので、会員の皆様の何卒会費納入のご協力をお願いいたします。

(財務委員長 小川由美子)

### 組織委員会

組織委員会は、諸規定の整備を通じて内部規律を高め、組織の充実を図り、より強固な組織を確立してまいります。

特に、会員の資格等に関して規約改正等を踏まえさらに検討を続けてまいりたいと考えています。

また、組織の活性化を図るために、当連盟ならではの会員研修会を企画してまいります。

同時に一人ひとりの会員に税政連会員であることを認識していただけるよう施策を検討し実



施してまいります。

(組織委員長 小寺隆弘)



## — 本部 6 委員会の紹介 —

### 国対委員会

国対委員会は、国会活動対策を通じて請願・陳情等の運動を実施し、税理士会による税制改正建議・要望の実現に向けた活動を行います。

また国政選挙を中心として推薦候補者に対する選挙対策を企画立案し、支援運動を展開してまいります。特に選挙対策においては公職選挙法及び政治資金規正法を理解するための研修会を定期的で開催し、選挙に対する正しい認識を持っていただけるように努めます。

このような当委員会の活動を通じて、税政連活動が会員先生方にとって身近に感じていただ



けるような施策の実現を目指していきたくと考えております。

(国対委員長 長谷川隆史)

### 後援会对策委員会

後援会对策委員会は、支援後援会が国会議員との繋がりを深め、税制改正要望の陳情に協力頂くための活発な活動を行っているか、さらに行うためにはどのような活動を強化すれば良いのかなどを共に考えてまいります。

そして、広く後援会および議員を知っていただくために広報誌で紹介いたします。

なお、令和 2 年 7 月に改正された支援規程では後援会の会員構成要件を達成していない後援会は、令和 6 年 6 月末日までに達成していただく必要がありますので、未達成後援会は要件を



満たすようお願いいたします。

今後も新たな後援会が設立されることを期待しています。(後援会对策委員長 室谷澄男)

### 広報委員会

広報委員会は、近税政が実際にどのような活動を行っているか、更には税政連の必要性、そしてその存在の意義を会員の皆様に周知していただくために、機関紙「近畿税政連」を原則年 7 回発行している。タイムリーな情報を提供するために「FAXニュース」も必要に応じてお送りしている。懸案であったホームページのリニューアルも近々完成し、新たな広報活動のツールとして活用していく。委員会の先生方は、皆忙しいのに非常に熱心に頑張ってくれている。

今後も各後援会や支部連の定期大会等の取材



でご厄介をおかけいたしますが、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。「近畿税政連」を是非ご一読あれ。(広報委員長 矢田善久)

## 55.93パーセント

中国の故事『鼓腹撃壤』は、善政の下では人は政治には関心を持たず、腹つづみを打ち、地面を踏みならして踊り、楽しく暮らすというほどの意味。人の常として、衣食住に満足していれば、選挙にそれほどの関心を持つまい。

仁徳天皇は民の困窮をみて3年間、税の徴収を止めたという。政治に期待するのは、第一には、飯が食えること。

第二は治安と国境警備である。昨年11月2日の米ヴァージニア知事選挙では、民主党が本来圧倒的に強い地域であるにも拘わらず、共和党の候補グレン・ヤンキン氏が当選した。

自治体の民は混乱を嫌い、健全な秩序と安心を求めたのだろう。

昨年10月31日、衆議院議員総選挙における投票率は戦後3番目に低い数字だった。60歳以上の投票結果を分析すれば、自民党単独で過半数とはならなかったらしい。この層は蓄えもある。

自民党が単独で安定多数の261議席を得たのは、背景に40歳未満の強い支持があり、40歳未満だけで選挙をしていれば自民党は300議席に迫る勢いだったようだ。

若い層は日本のこれからを察知してか、飯が食える政党として自民党に期待したのだろう。

国民国家としての連帯感はどうか。八百万の神々が幸う国柄ゆえ共通の基底をなす背景がないようにも思えるが、水と空気にも似た潜在した深層心裡に顕在意識は届かない。

一瀉千里を走る水平的な正義があると吹聴するマスコミの影響が強いこともあり、受けて政治家も与野党ともに好きなことを言うとする。

多くは無目的で無力感を味わいながらも、律儀さゆえ投票場には行くことになる。以上が今年の衆院選投票率55.93%の意味。これが80%であれば、世相は殺気だったことだろう。

(天王寺支部 倉矢勇)



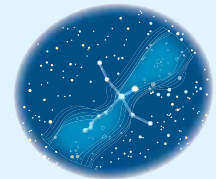
## 近税政本部のうごき

- 第1回後援会対策委員会(11月19日)
  - ・令和3年度運動方針及び委員会活動方針について
  - ・委員会の課題と対策及び今後の活動について 他
- 第2回国対委員会(11月22日)
  - ・令和3年度運動方針及び委員会活動方針について
  - ・税制改正要望・税理士法改正要望について 他
- 第1回政策委員会(11月24日)
  - ・令和3年度運動方針及び委員会活動方針について
  - ・委員会の課題と対策及び今後の活動について 他
- 第2回財務委員会(11月25日)
  - ・令和3年度運動方針及び委員会活動方針について
  - ・委員会の課題と対策及び今後の活動について 他
- 第2回組織委員会(11月26日)
  - ・令和3年度運動方針及び委員会活動方針について
  - ・栃木県税政連の訴訟について 他

「表紙」題字：(作=小倉さやか 上京支部)

「焦点」題字：第4回川柳・書道コンテスト  
書道テーマ部門 入選  
(作=吉田廣彰 葛城支部)

## 銀河系



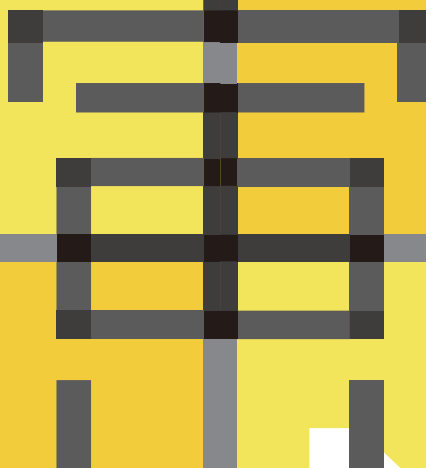
令和3年は政治をめぐる動きが目まぐるしく印象的な一年でした。税理士による後援会に

出席した際は議員からの政局報告に聞き入り、また応援する議員が大臣就任と報道された時には喜ばしい限りでした。これらは税政連の活動で得た経験です。他人事ではなく自分の事として政治を身近なものと感じる機会が増えれば、政治的無関心層の減少にもつながることでしょう。

緊急事態宣言解除後、税政連に関する行事、会合についても、対面で実施されることが徐々に増えてきています。引き続き広報委員会では、会員のご協力のもと機関紙を通じて税政連をめぐる動きや情報を皆様へ発信してまいります。税政連活動の理解、課題の解決にむけて、委員一同、企画、編集に尽力してまいりますので、本年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

(芦屋支部 吉田智代)

HAPPY  
NEW YEAR



明けましておめでとうございます。  
本年も何卒よろしくお願ひ申し上げますとともに  
組合員及び賛助会員の皆様の  
ますますのご発展をお祈り申し上げます。

## 大阪・奈良税理士協同組合

**理 事 長**

松本 圭一

**副 理 事 長**

吉本 利夫 山村 典之 榊山 京子 永橋 利志 森田 務

**専 務 理 事**

吉村 正浩 伏木 誠

**常 務 理 事**

長谷川孝夫 石谷 秀志 斎藤 良介 林 典男 根来 直代

佐藤 裕之 寺脇 淳司

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4 (近畿税理士会館11F)

TEL (06) 6941-6888/FAX (06) 6947-2800

<http://www.hanna-zeikyo.jp>

2022